

Sun™ Ultra™ 45 および Ultra 25 ワークステーション設置マニュアル



Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-3107-11
2006 年 5 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Ultra, AnswerBook2, docs.sun.com, OpenBoot, Power Management, Java, Java Coffee Cup のロゴマーク、SunSolve、SunVTS は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。Energy Star のロゴは、米国 EPA の登録商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。



米国 Sun Microsystems 社は ENERGY STAR® の参加事業者です。ENERGY STAR のロゴが付いた本製品の構成が ENERGY STAR の対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われないものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Installation Guide
Part No: 819-1891-11
Revision A



Please
Recycle



Adobe PostScript

目次

はじめに xi

1. Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションの設置 1
 - 安全性と適合性 1
 - ワークステーションの設置計画 2
 - ワークステーションの要件の確認 2
 - Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションの設置作業 4
 - 出荷キットの内容確認 5
 - フロントパネルの概要 6
 - 背面パネルの概要 8
 - 側面カバーの概要 10
 - キーボードおよびマウスの概要 11
 - オプションのハードウェアコンポーネントの取り付け 12
 - システムの安定装置の設定 13
 - ワークステーションのケーブル接続 14
 - ワークステーションの電源投入 16
 - ワークステーションの電源切断 19
2. プリインストールされている Solaris オペレーティングシステムソフトウェアのインストールおよび構成 21
 - Solaris オペレーティングシステムソフトウェアのインストール計画 21

Solaris オペレーティングシステムのインストール作業	23
Solaris オペレーティングシステムソフトウェアのインストールおよび構成	23
電源管理	29
電源 LED	30
ワークステーションを低電力モードにする方法	30
低電力モードのワークステーションのアクティブ化	31
3. プリインストールソフトウェアの起動準備	33
デスクトップシステムのソフトウェアマニュアル	34
Solaris 10 オペレーティングシステムソフトウェアのマニュアル	34
プリインストールされている生産性ソフトウェア	35
SunVTS 6.1 PS1	35
保守手順のアニメーション	35
保守手順のムービー	35
開発者ツール	37
NetBeans 5.0	37
Sun Java Studio Creator 2	37
Sun Java Studio Enterprise 8	38
Sun Studio 11	39
プリインストールソフトウェアの復元およびバックアップ	40
プリインストールソフトウェアの復元	40
Solaris プリインストールソフトウェアの復元	41
その他のソフトウェアの再インストール	41
別のハードディスクドライブへのプリインストールイメージのバックアップ	42
ハードディスクドライブのミラー化	42
4. Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションの設置に関する問題の診断	43
ワークステーションの設置に関する基本的な問題の診断および修復	43
技術サポートに提供する情報の収集	48

技術サポートへの問い合わせ方法 49

索引 51

図目次

図 1-1	Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションの設置作業の図	4
図 1-2	フロントパネルの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション	6
図 1-3	背面パネルの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション	8
図 1-4	側面カバーの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション	10
図 1-5	Type 7 キーボードおよびマウスの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション	11
図 1-6	システムの安定装置の設定 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション	13
図 1-7	Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションのケーブル接続	14
図 1-8	ワークステーションの電源投入	17
図 1-9	Solaris インストーラ (構成) ウィンドウ (拡大図)	18
図 2-1	Solaris オペレーティングシステムソフトウェア — インストール作業の図	23
図 2-2	Solaris 10 インストーラ (構成) ウィンドウ	24
図 2-3	権利付与およびソフトウェアライセンス契約	25
図 2-4	Sun USB Type-7 キーボードの Java DS キー、スリープキー、および「Power Off Selection」メニュー	31

表目次

表 1-1	電気仕様 – Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション 2
表 1-2	動作時の温度の仕様 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション 3
表 1-3	出荷キットの内容確認 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション 5
表 1-4	フロントパネルの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション 6
表 1-5	背面パネルの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション 8
表 1-6	側面カバーの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション 10
表 1-7	Type 7 キーボードおよびマウスの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション 11
表 1-8	ワークステーションの電源切断 19
表 2-1	プリインストールされているハードドライブイメージ — パーティション構成 22
表 2-2	インストールおよび構成の前に収集する情報 — ネットワークに接続されている Solaris オペレーティングシステム 26
表 2-3	インストールおよび構成前に収集する情報 — ネットワークに接続されていない Solaris デスクトップオペレーティングシステム 28
表 2-4	電源 LED の状態 30
表 3-1	ShowMe How ムービー 36
表 4-1	ワークステーションの設置に関する基本的な問題の診断および修復 44
表 4-2	SunService Support Center への問い合わせ前に収集する情報 48
表 4-3	役に立つ Sun 技術サポートの Web サイトおよび電話番号 49

はじめに

『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション設置マニュアル』(819-3107)では、ワークステーションの設置および操作の方法について説明します。このマニュアルは、ワークステーションでのハードウェアの取り付けやソフトウェアのインストール、および構成の経験のあるユーザーを対象としています。

『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション設置マニュアル』は、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、スウェーデン語、日本語、韓国語、簡体字中国語、および繁体字中国語に翻訳されています。翻訳版のマニュアルは、Sun™ Ultra™ 45 and Ultra 25 Workstations Hardware Documentation CD (705-1341) に収録されています。『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション設置マニュアル』および翻訳版のマニュアルは、次の Web サイトから入手することもできます。

<http://jp.sun.com/documentation/>

お読みになる前に

このマニュアルの手順を実行する前に、必ず『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Safety and Compliance Guide』(819-2785) および『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』(816-7190)をお読みください。

マニュアルの構成

このマニュアルは、以下の章で構成されています。

第 1 章では、次の項目について説明します。

- 安全性および適合
- ワークステーションの設置計画
- ワークステーションの要件の確認
- オプションのハードウェアコンポーネントの取り付け
- 安定装置の設定
- ワークステーションのケーブル接続
- ワークステーションの電源投入
- ワークステーションの電源切断

第 2 章では、次の項目について説明します。

- Solaris™ オペレーティングシステムソフトウェアのインストール計画
- Solaris オペレーティングシステムソフトウェアのインストールおよび構成
- 電源管理

第 3 章では、次の項目について説明します。

- デスクトップシステムのソフトウェアマニュアル
- プリインストールされている生産性ソフトウェア
- 開発者ツール
- マルチメディアソフトウェア
- プリインストールソフトウェアの復元およびバックアップ

第 4 章では、次の項目について説明します。

- 基本的なワークステーションの設置に関する問題の診断および修復
- 技術サポートへの問い合わせ方法

UNIX コマンド

『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション設置マニュアル』には、システムの停止、システムの起動、およびデバイスの構成などに使用する基本的な UNIX[®] コマンドと操作手順に必要な説明が部分的にしか記載されていない場合があります。

その他の UNIX コマンドについては、次の 1 つ以上のマニュアルを参照してください。

- 『Solaris 10 Sun ハードウェアマニュアル』 (819-1110)
- 次の Web サイトにある Solaris オペレーティングシステムのマニュアル
<http://docs.sun.com>
- 『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』 (819-1892)
- 使用しているシステムに付属のその他のソフトウェアマニュアル

シェルプロンプトについて

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	<i>machine_name%</i>
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#
ALOM シェル	sc>
OpenBoot TM PROM シェル	ok

書体と記号について

書体または記号*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	% su Password:
<i>AaBbCc123</i>	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「 」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	% grep `^#define` \ XV_VERSION_STRING '

* 使用しているブラウザにより、これらの設定と異なって表示される場合があります。

関連マニュアル

この設置マニュアルで説明する手順を実行する前に、『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』(816-7190) および『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Getting Started Guide』(819-1894) をお読みください。これらのマニュアルは、次の Web サイトからオンラインで入手できます。

<http://www.sun.com/>

CD-ROM に収録されている Sun Ultra 45 および Ultra 25 のマニュアル

ワークステーションに付属の Sun Ultra 45 and Ultra 25 Hardware Documentation CD (705-1341) には、次のマニュアルの HTML 版または PDF 版が収録されています。

- CD の使用方法 (Hardware Documentation CD に収録されている HTML 版のマニュアル)
- 『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション設置マニュアル』
- 『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』
- 保守手順のアニメーションムービー

表 P-1 に、Sun Ultra 45 and Ultra 25 Hardware Documentation CD の内容を示します。

表 P-1 Sun Ultra 45 and Ultra 25 Hardware Documentation CD

マニュアルの内容	タイトル	Part No.
Sun Ultra 45 and Ultra 25 Hardware Documentation CD の使用方法	CD の使用方法 (Hardware Documentation CD に収録されている HTML 版のマニュアル)	819-5117
ワークステーションの基本的な設定および診断情報	『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション設置マニュアル』	819-3107
ワークステーションの保守および診断の詳細な手順	『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』	819-1892
ワークステーションのハードウェアの取り付けおよび取り外しの手順を示すビデオアニメーション	Sun Ultra 45 and Ultra 25 Hardware Documentation CD に収録されている MPEG-1 ムービー	705-1341
Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションのすべてのマニュアルの概要	『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションマニュアルの概要』	819-5126

Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションのオンラインマニュアル

表 P-2

マニュアルの内容	タイトル	Part No.
基本的なハードウェアの設定 および Solaris OS のインストール	『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Getting Started Guide』	819-1894
ワークステーションのハード ウェアおよびソフトウェアの 設定と基本的な診断情報	『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステ ーション設置マニュアル』	819-1891 英語
		819-3102 フランス語
		819-3103 ドイツ語
		819-3104 イタリア語
		819-3105 スペイン語
		819-3106 スウェーデン語
		819-3107 日本語
		819-3108 韓国語
		819-3109 簡体字中国語
		819-3110 繁体字中国語
詳細な保守および診断手順	『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』	819-1892
ハードウェア、ソフトウェ ア、およびマニュアルの変更 に関する最新情報	『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Product Notes』	819-1893
安全性および適合に関する情 報	『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Safety and Compliance Guide』	819-2785
	『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』	816-7190
Solaris 10 1/06 オペレーティ ングシステムの情報	『Solaris 10 Sun ハードウェアマニュアル』	819-1110
グラフィックスアクセラレー タ	『Sun XVR-100 グラフィックスアクセラレー タインストールマニュアル』	817-1749
	『Sun XVR-2500 グラフィックスアクセラ レータインストールマニュアル』	819-4581

Sun のオンラインマニュアル

ローカライズ版を含む Sun の各種マニュアルは、次の URL から表示、印刷、または購入できます。

<http://www.sun.com/documentation>

表 P-2 に、Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションのオンラインマニュアルの内容を示しています。

注 – 役に立つ Sun の技術サポートの Web サイトおよび電話番号については、49 ページの「技術サポートへの問い合わせ方法」を参照してください。

マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun のサービス	URL
マニュアル	http://jp.sun.com/documentation/
サポート	http://jp.sun.com/support/
トレーニング	http://jp.sun.com/training/

Sun 以外の Web サイト

このマニュアルで紹介する Sun 以外の Web サイトが使用可能かどうかについては、Sun は責任を負いません。このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料についても、Sun は保証しておらず、法的責任を負いません。また、このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、商品、サービスの使用や、それらへの依存に関連して発生した実際の損害や損失、またはその申し立てについても、Sun は一切の責任を負いません。

コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。コメントは下記よりお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション設置マニュアル』、
Part No. 819-3107-11

第1章

Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションの設置

この章では、次の項目について説明します。

- 1 ページの「安全性と適合性」
 - 2 ページの「ワークステーションの設置計画」
 - 5 ページの「出荷キットの内容確認」
 - 12 ページの「オプションのハードウェアコンポーネントの取り付け」
 - 13 ページの「システムの安定装置の設定」
 - 14 ページの「ワークステーションのケーブル接続」
 - 16 ページの「ワークステーションの電源投入」
 - 19 ページの「ワークステーションの電源切断」
-

安全性と適合性

『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』(816-7190) を読んでください。このマニュアルは、Sun Ultra 45 または Ultra 25 ワークステーションに付属しています。

さらに詳しい安全性と適合性に関する情報については、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Safety and Compliance Guide』(819-2785) で参照できます。このマニュアルは、Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Hardware Documentation CD (704-7736) に収録されています。また、次の Web サイトからもオンラインで入手できます。

<http://www.sun.com/documentation/>

ワークステーションの設置計画

Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションを適切に設置するには、次の手順を実行します。

- ワークステーションの要件を確認します
- ワークステーションを開梱して、ワークステーションのハードウェア、ソフトウェア、およびマニュアルの各コンポーネントを確認します
- オプションのコンポーネントを取り付けます
- ワークステーション、モニター、キーボード、マウス、およびネットワークインタフェースをケーブル接続します
- ワークステーションの電源を投入します
- ワークステーションの電源を切断します

図 1-1 を使用すると、Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションの設置作業に役立ちます。

ワークステーションの要件の確認

Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションを開梱して設定および設置する前に、動作環境の電源および温度が適切であることを確認してください。

1. ワークステーションに供給される AC 電源が適切であるかどうかを確認します (表 1-1)。

必要に応じて、ワークステーションに適切な電源を供給してください。

表 1-1 電気仕様 – Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

最大 AC 入力	電圧	電流	周波数
範囲 1	100 Vac	12 A	50 ～ 60 Hz
範囲 2	110 ～ 127 Vac	10 A	50 ～ 60 Hz
範囲 3	200 ～ 240 Vac	6 A	50 ～ 60 Hz

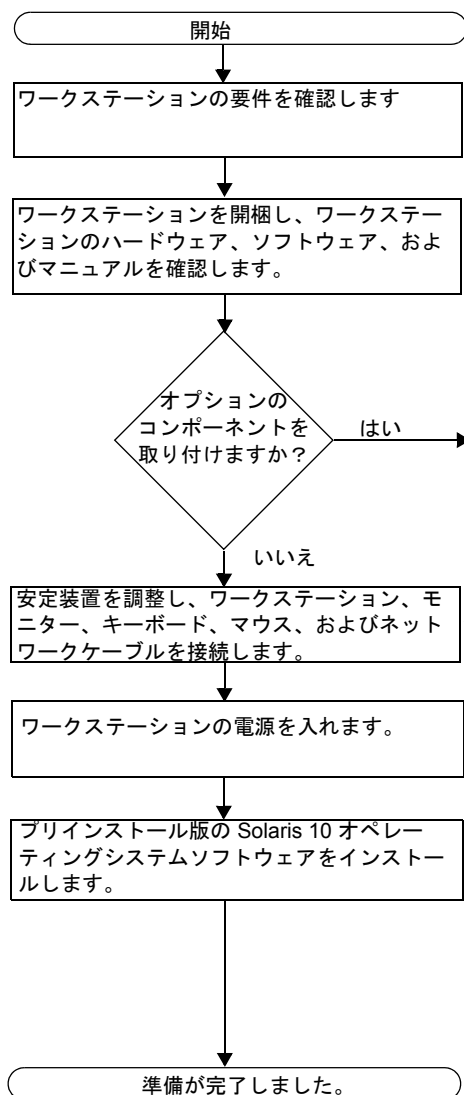
2. ワークステーションの環境の温度が適切であることを確認します (表 1-2)。
必要に応じて、ワークステーションの動作時の温度を適切な状態にしてください。

表 1-2 動作時の温度の仕様 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

パラメータ	仕様
ワークステーションの設置環境の温度	5 ～ 35 °C (41 ～ 95 °F)

ワークステーションの仕様の詳細は、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』 (Part No. 819-1892) を参照してください。

Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション の設置作業



2 ページの「ワークステーションの要件の確認」を参照してください。

5 ページの「出荷キットの内容確認」、6 ページの「フロントパネルの概要」、8 ページの「背面パネルの概要」、10 ページの「側面カバーの概要」、および 11 ページの「キーボードおよびマウスの概要」を参照してください。

DIMM (Dual Inline Memory Module)、グラフィックスアクセラレータ、PCI (Peripheral Component Interface) カード、ハードドライブ、またはテープドライブを取り付けるには、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892) および取り付けるオプションのコンポーネントに付属のマニュアルを参照してください。

13 ページの「システムの安定装置の設定」を参照してください。14 ページの「ワークステーションのケーブル接続」を参照してください。

16 ページの「ワークステーションの電源投入」を参照してください。

Solaris ソフトウェアのプロンプトに答えます。21 ページの「Solaris オペレーティングシステムソフトウェアのインストール計画」および 23 ページの「Solaris オペレーティングシステムソフトウェアのインストールおよび構成」を参照してください。

33 ページの「ブリインストールソフトウェアの起動準備」を参照してください。

図 1-1 Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションの設置作業の図

注 – Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションに対して Sun がサポートしているオペレーティングシステムは、Solaris 10 オペレーティングシステムソフトウェアのみです。これ以外のバージョンの Solaris ソフトウェアがインストールされていると、ワークステーションが正常に動作しない場合があります。

出荷キットの内容確認

梱包箱から、すべてのワークステーションのコンポーネントを慎重に取り出します。使用するワークステーションに、表 1-3 に示すコンポーネントがすべて含まれていることを確認します。不足しているコンポーネントがある場合は、ご購入先に問い合わせてください。

表 1-3 出荷キットの内容確認 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

項目	コンポーネントの説明
1	『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Getting Started Guide』 (819-1894)
2	『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Product Notes』 (819-1893)
3	静電気防止用リストストラップ
4	Sun Ultra 45 または Ultra 25 ワークステーション
5	Sun Ultra 45 and Ultra 25 Hardware Documentation CD (705-1341)
6	『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションマニュアルの概要』 (819-5126)
7	『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』 (816-7190)

フロントパネルの概要

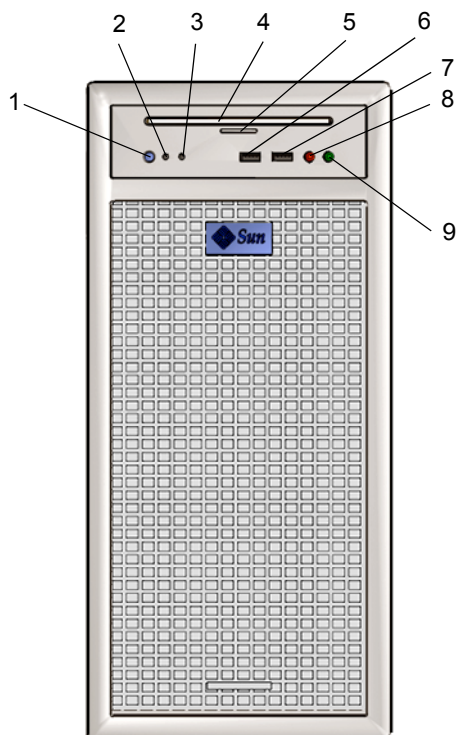


図 1-2 フロントパネルの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

表 1-4 フロントパネルの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

項目	説明
1	電源ボタン
2	電源 LED
3	障害 LED
4	DVD デュアルドライブスロット 注: このスロットの後ろに取り外し可能な I/O モジュールがあります。このモジュールには、電源ボタン、電源 LED、障害 LED、DVD デュアルドライブ、USB、マイクrophon、およびヘッドホンのコネクタが装備されています。
5	DVD デュアルドライブ取り出しボタン
6	USB V2.x コネクタ

表 1-4 フロントパネルの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション (続き)

項目	説明
7	USB V2.x コネクタ
8	マイクロフォンコネクタ (赤色)
9	ヘッドホンコネクタ (緑色)

背面パネルの概要

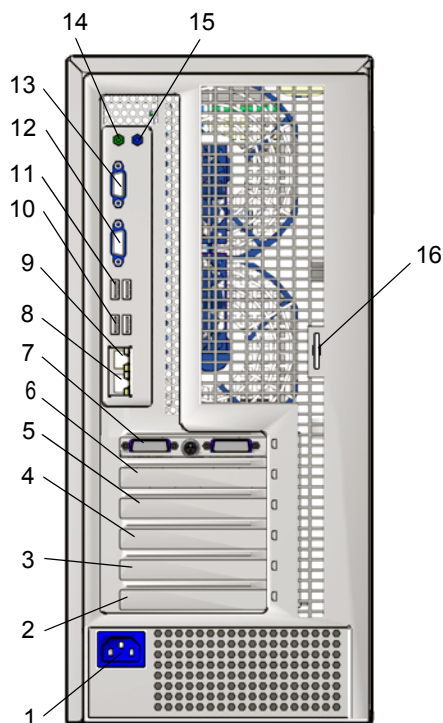


図 1-3 背面パネルの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

表 1-5 背面パネルの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

項目	説明
1	電源コネクタ
2	図で示されているのはフィラーパネル。このパネルの後ろにある 100 MHz の PCI-X0 (Peripheral Component Interconnect eXtended) のスロット 0
3	図で示されているのはフィラーパネル。このパネルの後ろにある 100 MHz の PCI-X1 (Peripheral Component Interconnect eXtended) のスロット 1
4	図で示されているのはフィラーパネル。このパネルの後ろにある PCI-E0 x8 (Peripheral Component Interconnect Express) のスロット 2
5	図で示されているのはフィラーパネル。このパネルの後ろにある PCI-E1 x16 (Peripheral Component Interconnect Express) のスロット 3
6	図で示されているのはフィラーパネル。このパネルの後ろには、周辺装置コンポーネントのインタフェーススロットはありません

表 1-5 背面パネルの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション (続き)

項目	説明
7	図で示されているのは Sun XVR-2500 グラフィックスアクセラレータ。このグラフィックスアクセラレータの後ろにある PCI-E2 x16 (Peripheral Component Interconnect Express) のスロット 4
8	より対線 Ethernet (TPE 1) 10/100/1000 Mbps
9	より対線 Ethernet (TPE 0) 10/100/1000 Mbps
10	USB (Universal Serial Bus) V2.x (2 つ)
11	USB (Universal Serial Bus) V2.x (2 つ)
12	シリアルコネクタ、DB9 (RS-432) TTYA
13	シリアルコネクタ、DB9 (RS-432) TTYB
14	音声ライン出力 (緑色)
15	音声ライン入力 (青色)
16	ロックの留め金

注 – Sun XVR-100 グラフィックスアクセラレータは、PCI-X のスロット 0 またはスロット 1 にのみ取り付けてください。

コネクタについては、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892) を参照してください。

側面カバーの概要



注意 – 側面カバーを取り外す前に、必ずワークステーションの電源を切ってください。必要に応じて、電源の切断および側面カバーの取り外しの手順について、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892) を参照してください。

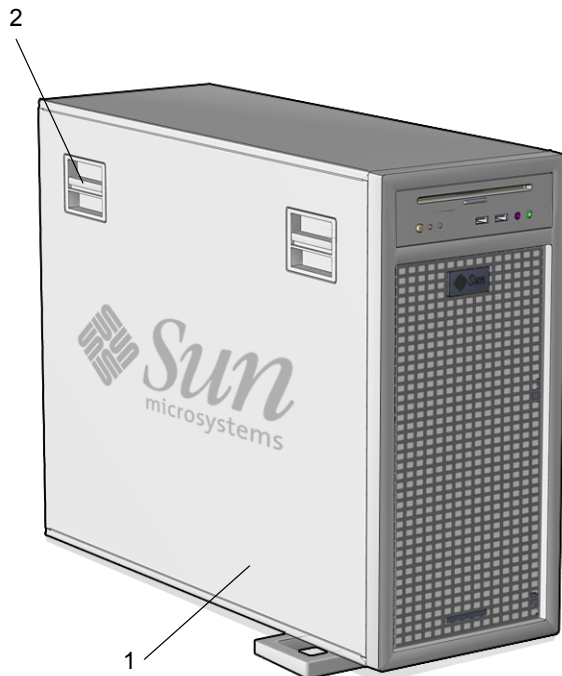


図 1-4 側面カバーの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

表 1-6 側面カバーの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

項目	説明
1	側面カバー
2	ラッチ (2 か所)

キーボードおよびマウスの概要

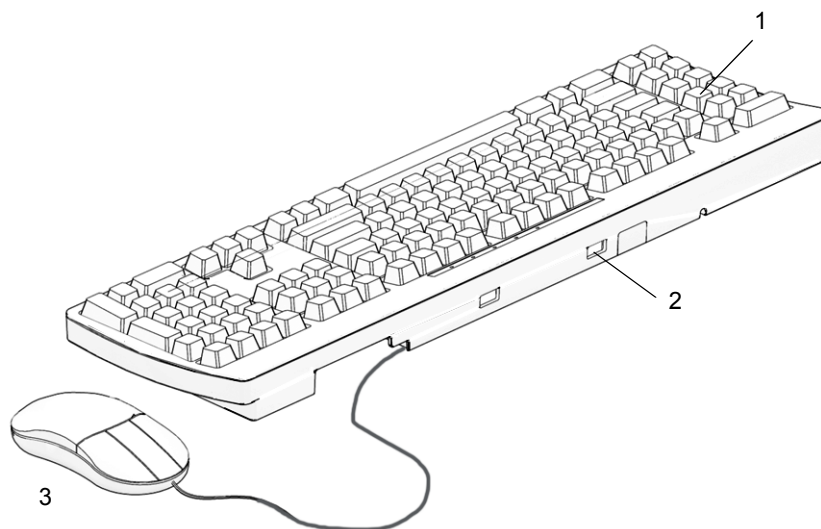


図 1-5 Type 7 キーボードおよびマウスの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

表 1-7 Type 7 キーボードおよびマウスの概要 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

項目	説明
1	Type 7 キーボード (Java™ Desktop System キーが示されている)
2	汎用シリアルポート (3 つ) (3 つめの USB ポートはキーボードの裏側にある)
3	3 ボタンマウス

Type 7 キーボードには、Java DS キーがあります。Sun のキーボードおよびマウスの詳細は、『Sun Type 7 キーボードおよびマウスインストールガイド』(819-2907) を参照してください。

オプションのハードウェアコンポーネントの取り付け

DIMM、PCI カード、グラフィックスアクセラレータ、またはハードドライブなどの、オプションの内部コンポーネントを取り付ける場合は、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892)、およびそのオプションのハードウェアコンポーネントに付属する設置マニュアルを参照してください。



注意 – DIMM、PCI カード、グラフィックスアクセラレータ、およびハードドライブなどのオプションのコンポーネントは、静電気に弱い電子部品で作られています。ハードウェアコンポーネントを取り扱うときは、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。

保守手順のアニメーションムービーは、Sun Ultra 45 and Ultra 25 Hardware Documentation CD (705-1341) に収録されています。これらのムービーでは、マザーボード、電源装置、取り外し可能 I/O モジュール、デュアルドライブ、DIMM、PCI カード、グラフィックスアクセラレータ、ハードドライブなどの、オプションのハードウェアコンポーネントの取り付けおよび取り外しの手順を示します。詳細は、35 ページの「保守手順のムービー」を参照してください。

システムの安定装置の設定

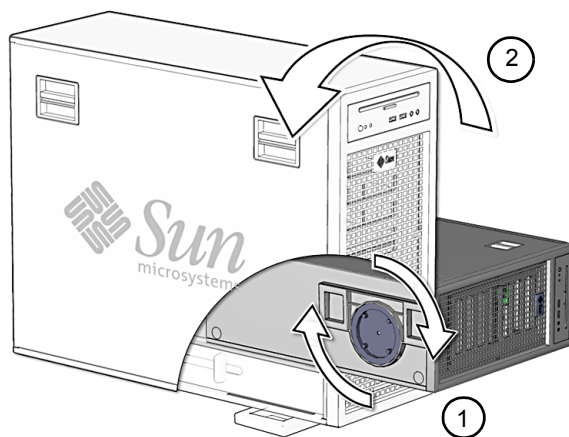


図 1-6 システムの安定装置の設定 — Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション

ワークステーションのケーブル接続

次の手順を実行して、ワークステーションのケーブルを接続してください。

1. キーボードの裏側にある USB ポートにマウスを接続します (図 1-7)。

キーボードを裏返しにして、USB ポートの位置を確認してください。マウスをこのポートに接続してください。図 1-7 に、ワークステーションのケーブル接続を示します。

2. キーボードを背面パネルの USB ポートに接続します。

注 – キーボードまたはマウスを、フロントパネルの USB ポートに接続しないでください。

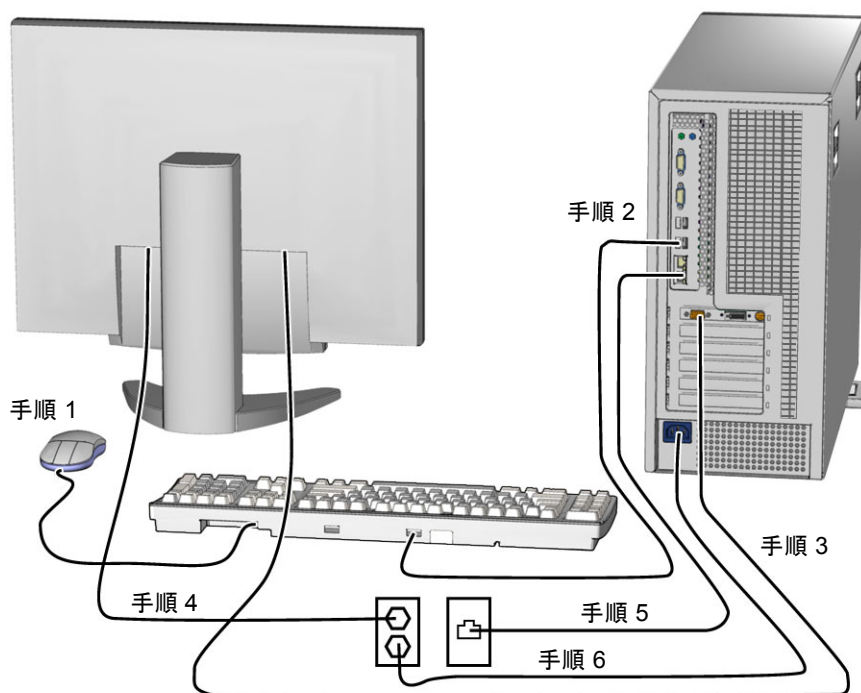


図 1-7 Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションのケーブル接続

3. モニターケーブルをグラフィックスアクセラレータのビデオコネクタに接続します。

図 1-7 のグラフィックスアクセラレータは Sun XVR-2500 です。使用している Sun Ultra 45 または Ultra 25 ワークステーションに、異なるグラフィックスアクセラレータが取り付けられている場合もあります。

注 – 13W3 コネクタの付いているモニターを正しく接続するには、Sun の DB13W3/15 HD/M アダプタケーブルが必要です。このアダプタケーブル (Sun の販売用パーツ番号 X471A) は、ご購入先または次のサイトで注文できます。
<http://store.sun.com/>
このケーブルは、パーツ番号とケーブルの種類の両方で検索してください。



注意 – 高電圧が存在します。

4. モニターの電源コードをアースされた電源コンセントに接続します。

5. 2 つの TPE コネクタのどちらかに Ethernet ケーブルを接続します。

Sun Ultra 45 または Ultra 25 ワークステーションには、ギガビット Ethernet ポートが 2 つあります。



注意 – 高電圧が存在します。

6. ワークステーションの電源コードをアースされた電源コンセントに接続します。

7. 追加の外部デバイスをワークステーションのその他のコネクタに接続します。

ワークステーションの電源投入

オプションの内部コンポーネントをすべて取り付けてから、ワークステーションの電源を入れてください。詳細は、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892)、および取り付けるオプションのコンポーネントに付属のマニュアルを参照してください。

1. モニターおよびすべての外部デバイスの電源を入れます (図 1-8)。

電源投入の手順については、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892) を参照してください。

2. フロントパネルにあるワークステーションの電源ボタンを押して、離します (図 1-8)。

電源ボタンを押したあと、電源 LED が点灯することを確認してください。

3. ワークステーションが起動され、Solaris インストーラ (構成) ウィンドウが表示されます (図 1-8 および図 1-9)。

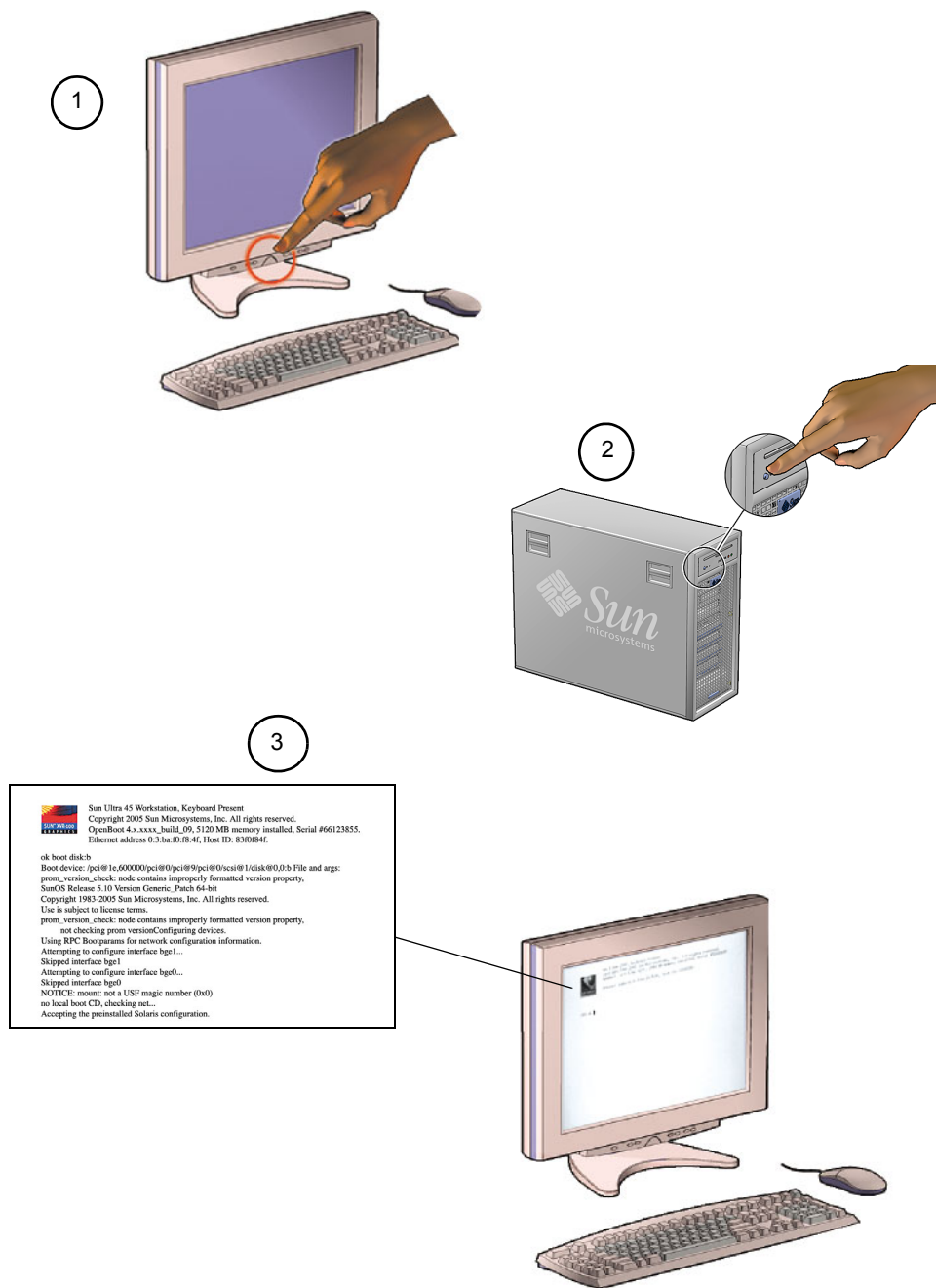


図 1-8 ワークステーションの電源投入



Sun Ultra 45 Workstation, Keyboard Present
Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
OpenBoot 4.x.xxx_build_09, 5120 MB memory installed, Serial #66123855.
Ethernet address 0:3:ba:f0:f8:4f, Host ID: 83f0f84f.

```
ok boot disk:b
Boot device: /pci@1e,600000/pci@0/pci@9/pci@0/scsi@1/disk@0,0:b File and args:
prom_version_check: node contains improperly formatted version property,
SunOS Release 5.10 Version Generic_Patch 64-bit
Copyright 1983-2005 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
Use is subject to license terms.
prom_version_check: node contains improperly formatted version property,
not checking prom versionConfiguring devices.
Using RPC Bootparams for network configuration information.
Attempting to configure interface bge1...
Skipped interface bge1
Attempting to configure interface bge0...
Skipped interface bge0
NOTICE: mount: not a USF magic number (0x0)
no local boot CD, checking net...
Accepting the preinstalled Solaris configuration.
```

図 1-9 Solaris インストーラ (構成) ウィンドウ (拡大図)

注 – 構成ウィンドウの詳細の一部が、前述の図と異なる場合もあります。

4. 使用しているワークステーションの Solaris オペレーティングシステムソフトウェアを構成します。

詳細な手順については、21 ページの「Solaris オペレーティングシステムソフトウェアのインストール計画」を参照してください。

注 – 使用しているシステムに Solaris 10 オペレーティングシステムがすでに構成されている場合は、ワークステーションによって Solaris 開始画面が起動されます。ユーザー名およびパスワードを入力してログインし、ワークステーションの使用を開始します。

電源投入に問題がある場合は、43 ページの「ワークステーションの設置に関する基本的な問題の診断および修復」を参照してください。

ワークステーションの電源切断

表 1-8 に、3 とおりのワークステーションの電源切断方法を示します。



注意 – ワークステーションの電源を切ったあとは、必ず 6 秒以上待ってからワークステーションの電源を再度投入してください。

表 1-8 ワークステーションの電源切断

方法	説明
方法 1	 1. 実行中のアプリケーションをすべて終了し、保存します。 2. キーボード上のスリープキーを押します。または、電源ボタンを押してすぐ離す方法もあります。 3. 「Shutdown」を選択します。
方法 2	1. 実行中のアプリケーションをすべて終了し、保存します。 2. スーパーユーザーで、shutdown と入力します。
方法 3	1. 電源ボタンを 4 秒間押し続けます。ワークステーションの電源が切断されます。 これは強制停止です。実行中のすべてのアプリケーションおよびファイルは、変更が保存されずに突然終了します。ワークステーションのファイルシステムが、破壊される可能性があります。

第2章

プリインストールされている Solaris オペレーティングシステム ソフトウェアのインストールおよび 構成

この章では、次の項目について説明します。

- 21 ページの「Solaris オペレーティングシステムソフトウェアのインストール計画」
- 23 ページの「Solaris オペレーティングシステムソフトウェアのインストールおよび構成」
- 29 ページの「電源管理」

Solaris オペレーティングシステムソフトウェアのインストール計画

使用するワークステーションは、シングルブート構成です。システム設定時に、プリインストールされた Solaris 10 オペレーティングシステムソフトウェアの構成を完了するか、または Linux などの別のオペレーティングシステムをインストールするかを選択できます。

この手順では、プリインストールされている Solaris 10 オペレーティングシステムソフトウェアのインストールを完了する方法について説明します。Sun Ultra 45 または Ultra 25 ワークステーションでは、それより前のバージョンの Solaris ソフトウェアはサポートされていません。

注 – プリインストールされている Solaris 10 1/06 OS ソフトウェアには、ライセンス料は必要ありません。ほかのバージョンの Solaris ソフトウェアをインストールする場合は、その追加ソフトウェアのライセンス料が必要になる場合があります。詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/>

主ハードドライブにプリインストールされている正確な構成は次のとおりです (表 2-1)。

表 2-1 プリインストールされているハードドライブイメージ パーティション構成

スライス	名前	容量
0	/ (ルート)	20G バイト
1	スワップパーティション	2G バイト
2	バックアップ	ディスク全体
3	/ space	残り
4 ~ 7		未使用

図 2-1 を使用すると、Solaris OS のインストール作業に役立ちます。

Solaris オペレーティングシステムのインストール作業

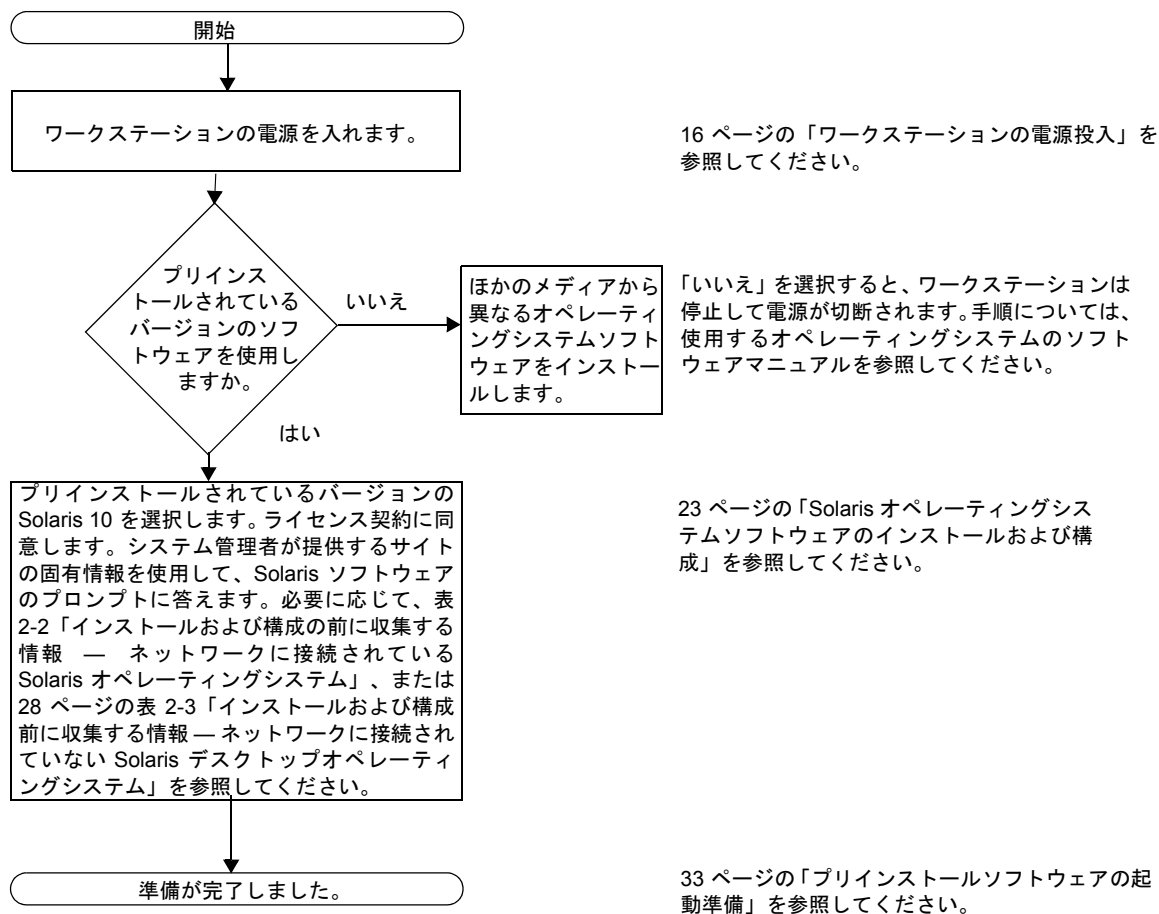


図 2-1 Solaris オペレーティングシステムソフトウェア — インストール作業の図

Solaris オペレーティングシステムソフトウェアのインストールおよび構成

1. 必要に応じて、ワークステーションに電源を入れます。
詳細は、16 ページの「ワークステーションの電源投入」を参照してください。

2. Solaris 10 インストーラ (構成) ウィンドウが表示されることを確認します (図 2-2)。

ワークステーションが起動され、図 2-2 のような Solaris 10 インストーラウィンドウが表示されます。

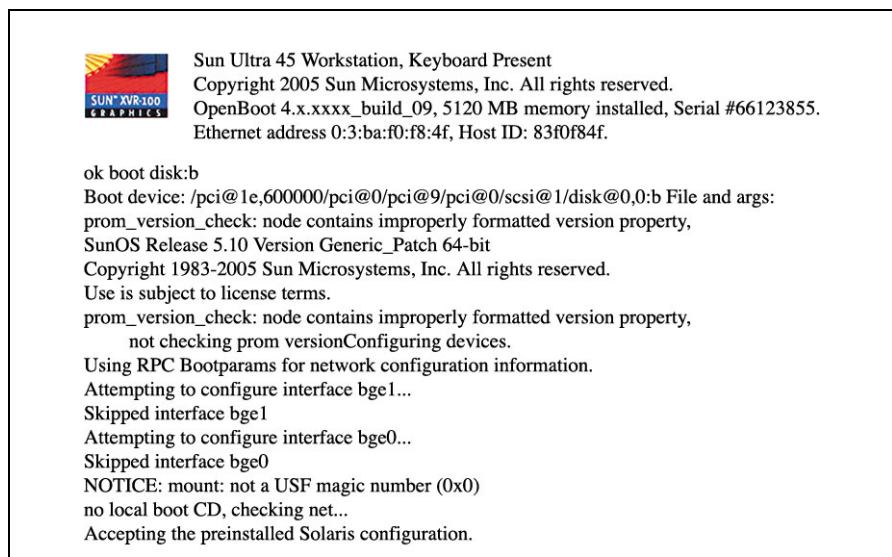


図 2-2 Solaris 10 インストーラ (構成) ウィンドウ



注意 – Solaris OS のバージョンによっては、Sun Ultra 45 または Ultra 25 ワークステーション上で正常に動作しないものもあります。このインストール作業を開始する前に、使用するワークステーションに Solaris 10 1/06 OS またはそれ以降の互換性のあるバージョンの Solaris OS をインストールしていることを確認してください。

3. Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションのソフトウェアライセンス契約を確認します。
4. スペースを押して続行するか、または `q` を入力して「Do you accept this licensing agreement?」に進みます (図 2-3)。

注 – ソフトウェアライセンス契約を理解していない場合は、契約内容を最後まで読んでください。全体的なライセンス契約に同意する前に、スペースバーを押して補足的な各ライセンス条項を確認してください。

ENTITLEMENT AND SOFTWARE LICENSE AGREEMENT for
SOLARIS 10 3/05 OPERATING SYSTEM

ENTITLEMENT

THIS ENTITLEMENT EVIDENCES YOUR AUTHORIZED SCOPE OF USE UNDER THE TERMS OF THE SUN MICROSYSTEMS, INC. SOFTWARE LICENSE AGREEMENT FOR THE SUN SOFTWARE INDICATED BELOW (THE "SLA") UNLESS OTHERWISE AGREED IN WRITING BETWEEN YOU AND SUN MICROSYSTEMS, INC. ("SUN").

Capitalized terms not defined in this document have the meanings ascribed to them in the SLA. These terms will supersede any inconsistent or conflicting terms in the SLA.

Licensee/Company: Entity in receipt of Software from an authorized source

Beginning Date of License Term: the date of receipt of this Entitlement

Software: Solaris 10 3/05

- Press "space" to continue, 'q' to skip -

図 2-3 権利付与およびソフトウェアライセンス契約

5. 画面上の指示に従って、Solaris オペレーティングシステムの設定プロンプトに答えます。

注 – ネットワークに接続されているワークステーションのインストール情報および構成情報の収集の指針として、表 2-2 を使用してください。ネットワークに接続されていないワークステーションのインストール情報および構成情報の収集の指針には、表 2-3 を使用してください。

注 – Solaris のインストールを開始する前に、ワークステーションの設定プロンプトに答えるために必要なサイトの固有情報をシステム管理者 (SA) から入手してください。

Solaris 10 の構成および設定の詳細は、次の Web サイトを参照してください。
<http://docs.sun.com/>

注 – 次のネットワーク情報 (表 2-2) を収集してから、Solaris 10 オペレーティングシステムをインストールおよび構成してください。

表 2-2 インストールおよび構成の前に収集する情報 — ネットワークに接続されている Solaris オペレーティングシステム

Solaris 10 インストールウィンドウ	説明および注	ユーザー情報
Solaris ライセンス	Solaris オペレーティングシステムのライセンス契約に同意するかまたは同意しません。	
Solaris リリース	Solaris 10 オペレーティングシステムのリリースを選択します。	
言語およびロケールの選択	ワークステーションで使用するネイティブ言語およびロケール。	
使用するワークステーションのホスト名	ワークステーションの名前を選択します。	
使用するサーバーのホスト名	この情報は、システム管理者から入手します。	
使用するネームサーバーのホスト IP アドレス		
ネットワーク接続プロトコル: bge DHCP IPv6	ネットワークまたはスタンドアロンのワークステーションのプロトコル。この項目は、システム管理者が記入する必要がある場合があります。 注: ネットワーク接続プロンプトに回答する方法や使用しているネットワークから提供される情報によっては、このワークステーションのホスト IP アドレスを入力するよう求められることがあります。	
Kerberos セキュリティー	Kerberos セキュリティーを拒否するか、または受け入れて設定します。	
ネームサービス (種類)	使用するネームサービスを選択します (NIS+、NIS、DNS、LDAP、または None のいずれか)。 注: ワークステーションがネットワーク接続されていない場合は、このウィンドウは表示されません。	

表 2-2 インストールおよび構成の前に収集する情報 — ネットワークに接続されている Solaris オペレーティングシステム (続き)

Solaris 10 インストールウィンドウ	説明および注	ユーザー情報
ドメイン名	このワークステーションの NIS または NIS+ ドメインを選択します。 注: ワークステーションが NIS または NIS+ サービスを使用していない場合は、このウィンドウは表示されません。	
ネームサーバー、サブネット、サブネットマスク	ネームサーバーを指定するか、ワークステーションにローカルサブネット上でネームサーバーを検出させます。 注: ワークステーションがネットワーク接続されていない場合は、このウィンドウは表示されません。	
タイムゾーン	地理的な位置、GMT 相対位置、またはタイムゾーンファイルによって、現地のタイムゾーンを選択します。	
日付と時間	現在の日付と時間を選択します (デフォルト設定を使用するか、または現在の日付と時間を入力する)。	
スーパーユーザーとパスワード	スーパーユーザーおよびパスワードを入力します。	

注 – 次のネットワーク情報以外の情報 (表 2-3) を収集してから、Solaris 10 オペレーティングシステムをインストールおよび構成してください。

表 2-3 インストールおよび構成前に収集する情報 — ネットワークに接続されていない Solaris デスクトップオペレーティングシステム

Solaris 10 インストールウィンドウ	説明および注	ユーザー情報
使用するワークステーションのホスト名	ワークステーションの名前を選択します。	
言語およびロケールの選択	ワークステーションで使用するネイティブ言語およびロケール。	
タイムゾーン	地理的な位置、GMT 相対位置、またはタイムゾーンファイルによって、現地のタイムゾーンを選択します。	
日付と時間	現在の日付と時間を選択します (デフォルト設定を使用するか、または現在の日付と時間を入力する)。	
スーパーユーザーとパスワード	スーパーユーザー ID およびパスワードを入力します。	

6. 「Confirmation Information」というタイトルの設定ウィンドウが表示されたら、使用しているワークステーションでの選択の概要を確認して、「Confirm」ボタンをクリックします。

「Confirm」ボタンをクリックすると、ワークステーションが再起動し、オペレーティングシステムが再構成されます。

ここで、ワークステーションによって Solaris 10 の開始画面が表示されます。

7. ユーザー名およびパスワードを入力してログインし、ワークステーションの使用を開始します。

注 – ワークステーションのハードドライブには、ほかにも多くの有用なソフトウェアパッケージがプリインストールされています。これらのアプリケーションについては、33 ページの「プリインストールソフトウェアの起動準備」を参照してください。

8. 最新の『Solaris 10 ご使用にあたって』を参照して、プリインストールソフトウェアに関する最新情報を確認します。

『Solaris 10 ご使用にあたって』は、次の Web サイトで参照できます。

<http://docs.sun.com>

電源管理

Sun Microsystems, Inc. は、Energy Star[®] パートナーです。Energy Star マークの付いたこの製品の構成は、Energy Star の基準に準拠しています。

Energy Star への適合に関する情報は、次の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.energystar.gov/>

Solaris に統合されている Power Management[™] ソフトウェアは、内部サブシステムを低電力モードにすることによって、ワークステーションのエネルギー効率を向上させます。

注 – Sun Ultra 25 ワークステーションは、CDE ウィンドウシステムではなく、Java Desktop System のウィンドウシステムを使用して動作している場合にかぎり、Energy Star の基準に準拠しています。

現在 CDE を使用している場合は、CDE セッションをログアウトし、CDE ではなく Java Desktop System を選択してログインし直すことで、Java Desktop System に切り替えることができます。

注 – ワークステーションのサブシステムの電力供給は、必要時に復旧します。デフォルトの非活動時間は、30 分です。

低電力モードとなっている間も、ワークステーションはネットワーク認識を保ち、ネットワークトラフィックに対応します。ワークステーションの電源管理設定の変更方法の詳細、およびそれに関する情報については、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/Solaris10/>

『Solaris 共通デスクトップ環境ユーザズ・ガイド』を検索して、電源管理に関する情報を見つけてください。必要に応じて、このユーザズガイドをダウンロードまたは購入することができます。

電源 LED

表 2-4 で説明するように、フロントパネルの電源 LED には、ワークステーションの電力状態を示す 3 つの状態があります。

表 2-4 電源 LED の状態

LED の状態	意味
LED 消灯	システムの電力が切断されているか、または起動中です。
LED 点滅	すべての内部サブシステムが低電力消費モードになっています。 注: 一部のハードウェアコンポーネントとソフトウェアドライバは、ワークステーションの可能な範囲内でもっとも低い電力消費モードをサポートしていない場合があります。その場合、電源 LED は点滅しません。
LED 点灯	1 つ以上の内部サブシステムで、全電力になっています。 注: 電源ボタンを押すと、電源 LED が点灯します。これは、システムの自己診断が正常に完了する前に発生します。

ワークステーションを低電力モードにする方法

ワークステーションは、あらかじめ定義した非活動時間が経過すると、自動的に低電力モードに入ることがあります。次の手順を実行して、手動でワークステーションを低電力モードにすることができます。

1. Sun Type 7 USB キーボードのスリープキー (図 2-4) を押します。
「Power Off Selection」(電源切断の選択) ダイアログボックスが表示されます。

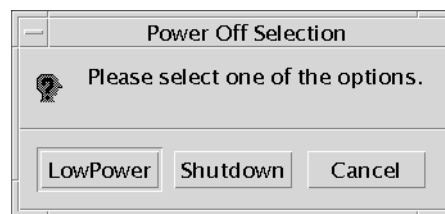
注 – Type 7 キーボードには、Java Desktop System (Java DS) キーがあります。

2. 「Power Off Selection」ダイアログボックスで「LowPower」(低電力) を選択します。

ワークステーションは、処理中の活動を完了させ、短いタイムアウト時間の経過後、低電力モードに入ります。

注 – キーボードのスリープキーを使用して、ワークステーションを低電力モードにしたり、ワークステーションを停止したりできます。詳細は、図 2-4 を参照してください。

注 – スリープキーでワークステーションの電源を入れることはできません。ワークステーションのフロントパネルにある電源ボタンを押してください。



「Power off selection」メニュー

図 2-4 Sun USB Type-7 キーボードの Java DS キー、スリープキー、および「Power Off Selection」メニュー

低電力モードのワークステーションのアクティブ化

低電力モードになっているワークステーションをアクティブにするには、マウスを動かすか、キーボード上の任意のキーを押します。モニターに何も表示されていない場合は再表示され、必要に応じて、CPU およびハードディスクドライブは全電力に復帰します。

注 – デフォルトでは、ワークステーションが低電力モードのときにはハードディスクドライブの内部ディスクは停止します。内部ドライブを再起動してから適切な速度で動作するまで、最長 30 秒かかることがあります。ハードドライブの電源管理の設定を変更するには、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/Solaris10/>

『Solaris 共通デスクトップ環境ユーザーズ・ガイド』を検索して、電源管理に関する情報を見つけてください。必要に応じて、このユーザーズガイドをダウンロードまたは購入することができます。

プリインストールソフトウェアの起 動準備

この章では、使用している Solaris 10 オペレーティングシステムと、使用しているワークステーションのハードドライブイメージにインストールされているソフトウェアに関する情報、および Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Hardware Documentation CD について説明します。この章では、次の項目について説明します。

デスクトップシステムのソフトウェアマニュアル

- 34 ページの「Solaris 10 オペレーティングシステムソフトウェアのマニュアル」

プリインストールされている生産性ソフトウェア

- 35 ページの「SunVTS 6.1 PS1」

プリインストールされている開発者ツール

- 37 ページの「NetBeans 5.0」
- 37 ページの「Sun Java Studio Creator 2」
- 38 ページの「Sun Java Studio Enterprise 8」
- 39 ページの「Sun Studio 11」

保守手順のアニメーションマルチメディア

- 35 ページの「保守手順のムービー」

プリインストールソフトウェアの復元およびバックアップ

- 40 ページの「プリインストールソフトウェアの復元」
- 42 ページの「別のハードディスクドライブへのプリインストールイメージのバックアップ」

デスクトップシステムのソフトウェアマニュアル

Solaris 10 オペレーティングシステムソフトウェアのマニュアル

Solaris オペレーティングシステムのマニュアルについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com/>

「Solaris 10」→「Solaris 10 User Collection - Japanese」→「Solaris 10 マニュアルの概要」を選択します。

Solaris 10 on Sun Hardware Collection のマニュアルも、次の Web サイトで参照できます。

<http://docs.sun.com/>

Solaris 10 on Sun Hardware Collection を参照するには、「Solaris 10」→「Solaris 10 on Sun Hardware Collection - Japanese」を選択します。

<http://www.sun.com/documentation/>

プリインストールされている Solaris の内容については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/preinstall/>

プリインストールされている生産性ソフトウェア

SunVTS 6.1 PS1

SunVTSTM ソフトウェアは、使用している Sun Ultra 45 または Ultra 25 ワークステーションに付属のハードディスクにプリインストールされているソフトウェアの 1 つとして使用できます。SunVTS ソフトウェアは、オペレーティングシステム独自のソフトウェアです。Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションをサポートする、version 6.1 またはそれ以降の互換性のあるバージョンの SunVTS のみを使用してください。

最新バージョンの SunVTS ソフトウェアは、次の Web サイトで見つけることができます。

<http://www.sun.com/oem/>

この Web サイトでは、SunVTS のインストール手順も提供しています。SunVTS のインストールおよびアンインストールの手順については、『SunVTS 6.1 User's Guide』を参照してください。

SunVTS の最新版のマニュアルは、次の Web サイトで見つけることができます。

<http://www.sun.com/oem/vts>

保守手順のアニメーション

保守手順のムービー

保守手順のチュートリアルムービーは、Sun Ultra 45 and Ultra 25 Hardware Documentation CD (705-1341) に収録されています。これらのムービーでは、Sun Ultra 45 ワークステーションの設置および取り外しの手順を示します (表 3-1)。ムービーが示す手順は、Ultra 25 ワークステーションにも適用されます。

使用している Sun Ultra 45 または Ultra 25 ワークステーションにオプションのハードウェアコンポーネントを取り付ける前に、これらのムービーを参照してください。これらのムービーを Solaris、Microsoft Windows XP/2000、および MacOS ベースのシステムで参照する場合の説明は、Sun Ultra 45 and Ultra 25 Hardware Documentation CD に収録されています。

表 3-1 ShowMe How ムービー

ワークステーションのコンポーネント	ShowMe How ビデオのタイトル
電源	Powering Off the System
	Powering On the System
電源装置	Replacing the Power Supply
ハードドライブ	Installing and Replacing a Hard Drive
	Replacing the Hard Drive Backplane
マザーボード	Replacing the Motherboard
PCI	Installing and Replacing PCI Boards
DIMM	Installing and Replacing Memory (Ultra 25 ワークステーションのメモリーに関する手順は、ムービーの内容とわずかに異なる場合があります。)
DVD デュアルドライブ	Replacing the DVD Dual Drive

開発者ツール

ワークステーションのハードディスクイメージには、次の Java プラットフォーム用の Sun の開発ツールがプリインストールされています。

注 – Java 製品を復元する必要がある場合は、次の Web サイトからリンクを選択し、最新バージョンをダウンロードできます。
<http://java.sun.com/>

NetBeans 5.0

NetBeansTM 5.0 はオープンソースのアプリケーション開発ツールで、これを使用すると開発者は Java アプリケーションを Web 層で作成できます。NetBeans 5.0 の情報については、次の Web サイトで参照できます。

<http://www.netbeans.org/>

次のページから情報をダウンロードできます。

<http://www.netbeans.org/downloads/index.html>

NetBeans IDE 5.0 は、次の場所にインストールされます。

`/opt/netbeans-5.0`

IDE を実行するには、次を起動します。

`/opt/netbeans-5.0/bin/netbeans`

IDE をアンインストールするには、次を起動します。

`/opt/netbeans-5.0/_uninst/uninstaller`

Sun Java Studio Creator 2

Sun Studio Creator 2 は、フロントエンドの Web アプリケーションビルダーで、Windows XP/2000、Linux、Solaris、および MacOS のプラットフォーム上で動作します。Sun Studio Creator 2 の情報は、次の Web サイトで参照できます。

<http://developers.sun.com/prodtech/javatools/jscreator/reference/docs/>

Java Studio Creator 2 には、次のものが含まれています。

- Sun Java Studio Creator 開発環境
- Sun Java System Application Server Platform Edition
- PointBase Embedded データベース

インストール場所: /opt/Creator

インストールログ: /opt/Creator/install.log

Application Server に関する情報:

- 管理者ユーザー名: admin
- 管理者ユーザーパスワード: adminadmin
- 管理者ポート: 14848

ポート情報の詳細: /opt/Creator/system/install.properties

Sun Java Studio Enterprise 8

Sun Java Studio Enterprise 8 は、開発者の共同作業とリアルタイムでの情報共有を可能にするアプリケーションツールです。Sun Java Studio Enterprise 8 の情報については、次の Web サイトで参照できます。

<http://developers.sun.com/prodtech/javatools/jsenterprise/index.html>

Sun Java Studio Enterprise 8 は、次の場所にインストールされます。

/opt/sun/jstudio_ent8

次の機能が含まれています。

- Sun Java Studio Enterprise 8
- Sun Java System Application Server 8.1 UR2 Platform Edition
- コラボレーション実行環境

インストールの概要を次に示します。

- 合計サイズ: 273.9 M バイト
- 製品: /opt/sun/jstudio_ent8
- IDE: /opt/sun/jstudio_ent8/ide
- Application Server: /opt/sun/jstudio_ent8/AppServ8.1UR2
- Application Server の管理者ユーザー名: admin
- Application Server の管理者パスワード: adminadmin
- コラボレーション実行環境: /opt/sun/jstudio_ent8/CollabRuntime

Sun Studio 11

Sun Studio 11 ソフトウェアを使用すると、ユーザーは C、C++、および Fortran を使用して高いパフォーマンスのソフトウェアアプリケーションを開発できます。このリリースでは、開発者は、最新のマルチコア UltraSPARC® システムおよび x64/x86 システムを含む Sun のハードウェアプラットフォーム上で、拡張性のある 32 ビットおよび 64 ビットのアプリケーションを構築できます。Sun Studio 11 の情報については、次の Web サイトを参照してください。

Solaris プラットフォーム:

<http://developers.sun.com/prodtech/cc/documentation/ss11/index.html>

Linux プラットフォーム:

<http://developers.sun.com/prodtech/cc/documentation/ss11/indexLinux.html>

インストールおよびライセンス許諾に関するログファイルは、次の場所に格納されます。/var/sadm/install/logs

ログファイルを表示するには、プロンプトのあとに次のように入力します。

```
% cd /var/sadm/install/logs;more filename
```

インストールされた製品にはアップデート通知機能が含まれています。これは、Sun Microsystems の Web サービスを確認して関連のある更新を通知する機能です。詳細は、リリースノートを参照してください。

Sun Studio 11 開発者ツールのコンポーネントのいずれかをネットワークサーバーにインストールした場合、ネットワーク上にインストールされたソフトウェアを使用する開発者に使用開始にあたっての情報を送信するために、次に示す電子メールのテンプレートを使用できます。

```
/install-directory/SUNWspro/READMEs/email_template.txt
```

この時点で、PATH に次のパスを設定してください。

```
/opt/SUNWspro/bin
```

Bourne ファミリのシェル (sh、bash、ksh) の場合は、次のように設定します。

```
$ PATH=/opt/SUNWspro/bin:$PATH; export PATH
```

C ファミリのシェル (csh、tcsh) の場合は、次のように設定します。

```
% setenv PATH /opt/SUNWspro/bin:$PATH
```

次に、IDE を実行するため、プロンプトで次のように入力します。

```
% sunstudio
```

プリインストールソフトウェアの復元およびバックアップ

プリインストールソフトウェアの復元

注 – Solaris 10 および Java Desktop System (Java DS) のすべてのコンポーネントは、Solaris 10 オペレーティングシステムをダウンロードして入手するか、または Solaris 10 メディアキットから入手することができます。Solaris 10 および Java DS コンポーネントの入手方法については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/>

ワークステーションは、Solaris 10 オペレーティングシステムとその他のプリインストールソフトウェアで事前構成されています。しかし、何らかの理由でハードドライブを交換する場合、その交換ドライブには、Solaris 10 オペレーティングシステムおよびその他のプリインストールソフトウェアは事前構成されていません。

そのため、システムの復元が必要となった場合に使用できるように、オペレーティングシステムの完全なバックアップを作成および保存する必要があります。オペレーティングシステムのバックアップの手順は、Solaris 10 System Administrator Collection に含まれています。Solaris 10 System Administrator Collection については、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com/>

また、プリインストールされているソフトウェアのいくつかは、該当するバージョンの Solaris メディアキットに含まれている CD-ROM からハードドライブイメージに復元できます。このメディアキットには、ワークステーションにプリインストールされているソフトウェアが一部含まれています。また、再インストールするソフトウェアによっては、このマニュアルに記載されている Web サイトからのダウンロードが必要になる場合があります。Mozilla などいくつかのソフトウェア製品のメーカーは、それぞれの Web サイトでさまざまなバージョンを提供している場合があります。

Solaris プリインストールソフトウェアの復元

注 – Sun Ultra 45 または Ultra 25 ワークステーションでは、Solaris 10 オペレーティングシステムまたはそれ以降の互換性のあるバージョンの Solaris を使用してください。

1. 使用しているワークステーション用に Solaris メディアキットを入手します。

ワークステーションと一緒に注文した場合は、すでにこのキットを入手しています。システムと一緒にキットを注文しなかった場合は、ご購入先に連絡し、使用している言語と Solaris のバージョンに合った Solaris メディアキットを注文してください。詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/>

2. キットに同梱されている「Start Here」という文書のインストール手順に従います。

Solaris オペレーティングシステムと、希望する追加ソフトウェアをインストールできます。

また、SunSolveSM Web サイトでパッチをダウンロードすることもできます。

<http://sunsolve.sun.com/>

『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Product Notes』(819-1893) にもパッチおよびソフトウェアのバージョン情報が記載されている場合があります。最新の『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Product Notes』を入手するには、次の Web を参照してください。

<http://www.sun.com/documentation/>

その他のソフトウェアの再インストール

その他のソフトウェアパッケージを再インストールする必要がある場合は、ソフトウェアのバージョンが最新であることを確認してください。ソフトウェアの最新バージョンについては、このマニュアルに記載されている Web サイトを参照してください。

別のハードディスクドライブへのプリインストールイメージのバックアップ

ハードドライブのバックアップについては、Solaris 10 の『Solaris のシステム管理』で参照できます。このマニュアルは、次の Web サイトから入手できます。

<http://docs.sun.com/>

ハードディスクドライブのミラー化

Solaris 10 OS を使用してハードドライブのミラー化を実行するには、Solaris ボリュームマネージャーを使用してください。

Solaris ボリュームマネージャーについては、次の Web サイトで『Solaris ボリュームマネージャの管理』を参照してください。

<http://www.sun.com/documentation/>

第4章

Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションの設置に関する問題の診断

この章では、ワークステーションの設置に関する基本的な問題を診断する際に役立つ情報を示します。次の項目について説明します。

- 43 ページの「ワークステーションの設置に関する基本的な問題の診断および修復」
- 49 ページの「技術サポートへの問い合わせ方法」

ワークステーションの設置に関する基本的な問題の診断および修復

この節で説明する診断は、はじめてのワークステーションのケーブルの接続、電源の投入、および構成を行なったあとに発生する可能性のある、単純な問題の診断と修復に役立てることを目的としています。基本的な診断および高度な診断の手順の詳細は、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892) で説明しています。

注 – ワークステーションの障害を診断する際は、必ず正常な動作と観察対象の動作を比較して、その相違点を文書にしてください。この情報は、Sun の技術サポートへの問い合わせが必要な場合に役立つことがあります。

ワークステーションにケーブルを接続して電源を入れ、構成したあとに問題が生じた場合は、表 4-1 の診断情報を参照してください。

注 – 高度な診断手順については、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892) で説明しています。

表 4-1 ワークステーションの設置に関する基本的な問題の診断および修復

問題	診断手順
電源ボタンを押してもワークステーションに電源が入らない。	- ワークステーションの電源 LED が点灯しているかどうかを確認します。正常な動作では、電源ボタンを押してからワークステーションのビープ音が鳴ったあとに、電源 LED が点灯します。このように動作しない場合は、ワークステーションの電源コードが、正常に動作している AC コンセント (表 1-1) に接続されていること、および電源コードがワークステーションの電源コネクタに接続されていることを確認してください。 - 電源ボタンを押したあとに、ワークステーションの電源 LED が点灯するかどうかを確認します。点灯しない場合は、電源コードを交換してください。 - 電源 LED が点灯するかどうかを確認します。点灯しない場合は、システムの電源を入れたときに、システムのビープ音がすることを確認します。キーボードおよびマウスが USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。詳細は、14 ページの「ワークステーションのケーブル接続」を参照してください。 - 動作するとわかっている別のキーボードおよびマウスを使用してテストします。そのキーボードを接続してシステムに電源を入れたときに、システムのビープ音がすることを確認します。 - 電源投入から 5 分以内にモニターが同期をとり、モニターの緑の LED が点滅から点灯に変わるかどうかを確認します。 注: モニターが同期をとっても ok プロンプトまたはログインウィンドウが表示されない場合は、システムが POST に合格していない可能性があります。『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』を参照してください。システムが POST に合格して ok プロンプトが表示されても Solaris が起動しない場合は、boot -r と入力してください。
ワークステーションには電源が入ったが、モニターに電源が入らない。	- モニターの電源 LED が点灯しているかどうかを確認します。正常な動作では、グラフィックスアクセラレータから信号を受信してワークステーションから AC 電源が供給されると、モニターの電源 LED は緑になります。スリープモードでは、LED は点滅するかあるいはオレンジ (黄) 色になります。キーボード上のキーを押すか、スペースバーを押すか、またはマウスを動かすと、モニターはスリープモードから復帰します。電源 LED がこれらの行為に反応しない場合は、モニターの電源コードが、正常に動作している AC コンセント (表 1-1) に接続されていること、および電源コードがモニターの電源コネクタに接続されていることを確認してください。 - モニターの電源 LED が点灯しているかどうかを確認します。点灯していない場合は、モニターのケーブルがグラフィックスアクセラレータおよびモニターに正しく接続され、取り付けられていることを確認してください。 - モニターの電源 LED が点灯しているかどうかを確認します。点灯していない場合は、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』を参照してください。

表 4-1 ワークステーションの設置に関する基本的な問題の診断および修復 (続き)

問題	診断手順
ワークステーションに電源が入り、モニターに電源が入っているが、画像が表示されない。	1. 画像が表示されているかどうかを確認します。正常な動作では、モニターの電源 LED が緑になり、接続されたグラフィックスアクセラレータから信号を受信し、ワークステーションに AC 電源が供給されると、画像が表示されます。スリープモードでは、電源 LED は点滅するかまたはオレンジ (黄) 色になります。キーボード上のキーを押すか、スペースバーを押すか、またはマウスを動かすと、モニターはスリープモードから復帰します。キーボード上のキーを押すか、スペースバーを押すか、またはマウスを動かしても画像が表示されない場合は、モニターの明るさおよびコントラストの制御が正しく調整されていることを確認してください。 2. 画像が表示されているかどうかを確認します。画像が表示されていない場合は、モニターケーブルがグラフィックスアクセラレータの正しいポートに接続されていることを確認してください。 3. モニターを別のシステムに接続して、動作するかどうかを確認します。 4. 別のモニターがある場合は、これをもとのシステムに接続して、動作するかどうかを確認します。 5. OpenBoot PROM のデフォルトが適切に設定されているかどうかを確認します。 a. 電源ボタンを 4 秒間押したままにして、システムの電源を切ります。 b. 30 秒間待ってから、システムの電源を入れます。 c. 電源 LED が点滅したらすぐに、すばやく電源ボタンを 2 度押します。ok プロンプトが表示され、システムはセーフ NVRAM モードに入ります。 d. OpenBoot PROM パラメータの output-device が screen に、input-device が keyboard に設定されていることを確認します。 e. ok プロンプトが表示されない、または output-device の設定を変更しても効果がない場合は、Sun の技術サポートに問い合わせてください。詳細は、49 ページの「技術サポートへの問い合わせ方法」を参照してください。
ワークステーションが低電力モードになっているようだが、電源 LED が点滅しない。	電源インジケータ LED は、すべてのシステム部品が低電力モードになっている場合にだけ点滅します。 注: 一部のハードウェアコンポーネントとソフトウェアドライバは、ワークステーションの可能な範囲内でもっとも低い電力消費モードをサポートしていないことがあります。その場合、電源 LED は点滅しません。
キーボードが機能しない。	1. キーボードが、背面パネルにある 4 つの USB ポートの 1 つに正しく接続されているかどうかを確認します。キーボードの USB コネクタが、ワークステーションの背面パネルにある 4 つの USB ポートの 1 つに正しく取り付けられている場合、正常な動作ではワークステーションの電源が入るとビープ音が鳴ります。キーボードの USB コネクタが正しく取り付けられていない場合は、USB コネクタを取り外して、再度取り付けてください。 2. キーボードが機能するかどうかを確認します。キーボードが機能しない場合は、機能することがわかっているキーボードと交換してください。そのキーボードが機能したら、障害のあるキーボードを交換してください。 3. キーボードが機能するかどうかを確認します。キーボードが機能しない場合は、マザーボードに障害のある可能性があります。『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892) を参照してください。

表 4-1 ワークステーションの設置に関する基本的な問題の診断および修復 (続き)

問題	診断手順
マウスが機能しない。	1. キーボードにある 3 つの USB ポートの 1 つに、マウスが正しく接続されているかどうかを確認します。正常な動作では、Sun のキーボードにある 3 つの USB ポートの 1 つにマウスの USB コネクタが接続され、そのキーボードが背面パネルにある 4 つの USB ポートの 1 つに接続されている場合、ワークステーションはピープ音を鳴らします。マウスの USB コネクタが正しく取り付けられていない場合は、USB コネクタを取り外し、再度取り付けてください。 2. マウスが機能するかどうかを確認します。マウスが機能しない場合は、マウスのトラックボールおよび内部のローラーが汚れていないことを確認してください。 3. マウスが機能するかどうかを確認します。マウスが機能しない場合は、機能することがわかっているマウスと交換してください。そのマウスが機能したら、障害のあるマウスを交換してください。 4. マウスが機能するかどうかを確認します。マウスが機能しない場合は、キーボードまたはマザーボードに障害のある可能性があります。キーボードが機能しない場合の診断を参照してください。問題が解決しない場合は、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892) を参照してください。
起動処理中にネットワークエラーメッセージが表示される。	システムが次のエラーメッセージを表示した場合は、次の手順を実行します。 Warning: timed out waiting for NIS to come up :Timeout waiting for ARP/RARP packet 1. 別の Ethernet ケーブルでワークステーションとネットワークを接続してみます。新しいケーブルが動作するかどうかを確認します。 2. ケーブルを変更しても改善されない場合は、システムを ok プロンプトの状態にして、OpenBoot PROM の設定を確認してください。通常のシステムでは、diag-switch?= false を設定し、boot-device を disk net に設定します。OpenBoot PROM の設定の詳細は、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892) を参照するか、または Sun の技術サポートセンターに問い合わせてください。 3. 遠隔システムから、ping hostname コマンドを使用してシステムに ping を実行します。 4. ネットワークが動作しているかどうかを、システム管理者に確認します。 5. Sun の技術サポートに問い合わせます。49 ページの「技術サポートへの問い合わせ方法」を参照してください。

表 4-1 ワークステーションの設置に関する基本的な問題の診断および修復 (続き)

問題	診断手順
CD または DVD が、取り出しボタンを押してもメディアトレーから排出されない。	ユーザーの手順 - マウスを動かすか、キーボードの任意のキーを押します。ドライブが低電力モードになっている可能性があります。 - メディアドライブの取り出しボタンを使用して、CD の排出を試みます。 - 端末ウィンドウで、eject cdrom と入力します。 - 手順 3 を実行しても排出されない場合、CD がマウントされているかどうかを確認します。端末ウィンドウで、df grep cdrom と入力します。 CD がマウントされている場合は、次のように表示されます。 <code>/cdrom/wzi-2230 (/vol/dev/dsk/c0t2d0/wzi-2230): 0 blocks 0 files</code> umount に続けて、前述のコマンド出力の丸括弧内の文字列を入力し、CD のマウントを解除します。前述の例の場合は、マウントポイントは wzi-2230 であるため、umount /vol/dev/dsk/c0t2d0/wzi-2230 と入力します。 eject cdrom コマンドを入力します。 メディア CD 排出の代替手順 - マウスを右クリックして、「Workspace Menu」→「Folders」→「Open CDROM」の順に選択します。 ファイルマネージャーウィンドウが開きます。 「File」→「Eject」の順に選択します。 - CD が排出されない場合は、端末ウィンドウで cd と入力して CD ディレクトリを終了します。 - 再度、ファイルマネージャーウィンドウから CD の排出を試みます。 さらにサポートが必要な場合は、システム管理者または SunService Support Center に問い合わせてください。 すべての CD に対するシステム管理者による非常時の手順 スーパーユーザーで、vold デーモンを停止します。 - 端末ウィンドウを開きます。 - スーパーユーザーで、/etc/init.d/volmgt stop と入力します。 - メディアプレーヤーの取り出しボタンを押します。 注: 別の CD をマウントするには、/etc/init.d/volmgt start と入力して vold を起動する必要があります。 前述の手順 3 を実行しても CD が排出されない場合は、次の手順を実行します。 - ok プロンプトを表示します。 - 取り出しボタンを押します。 この 2 つの手順を実行しても CD がまだ排出されない場合は、ケーブルまたはほかのハードウェアに問題がある可能性があります。さらにサポートが必要な場合は、SunServiceSM Support Center に問い合わせてください。

技術サポートに提供する情報の収集

Sun の技術サポートに問い合わせる前に、ワークステーションの電源投入シーケンスで発生した変化をすべて記録してください。この情報によって、Sun の技術サポートがエラーを迅速に診断できる場合があります。詳細は、『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892) を参照してください。

表 4-2 SunService Support Center への問い合わせ前に収集する情報

システムの構成情報	情報記入欄
SunService SM の契約番号	
システムモデル (Sun Ultra 45 ワークステーションなど)	
使用している Solaris オペレーティングシステムおよびリリース 端末ウィンドウで、 cat /etc/release と入力してください	
システムのシリアル番号	
システムに接続している周辺装置 (プリンタ、外部ハードドライブなど)	
ユーザーの電子メールアドレスと電話番号、および第 2 連絡先 システムの設置場所の住所	
スーパーユーザーのパスワード	パスワードは記入しないでください。
問題の概要および問題発生時に行なった作業	
IP アドレス	
ワークステーションの名前 (システムホスト名)	
ネットワークまたはインターネットドメイン名	
プロキシサーバーの構成	

技術サポートへの問い合わせ方法

このマニュアルに記載されていない、この製品に関する技術的な問い合わせについては、表 4-3 を参照してください。

表 4-3 役に立つ Sun 技術サポートの Web サイトおよび電話番号

Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションの マニュアルおよびサポートリソース	URL または電話番号
Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションのマニュアル: 『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』(819-1892) 『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション設置マ ニュアル』(819-3107-11) 『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Product Notes』(819-1893)	http://www.sun.com/documentation/
Solaris やこのマニュアルに記載されているその他のソフ トウェアに関するマニュアルの検索 Web サイト。Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションのマニュアル も一部登録されています。充実した検索機能が提供されて います。	http://docs.sun.com/
保証および契約サポートの問い合わせ先。各種サービスへ のリンクがあります。	http://www.sun.com/service/
診断に関する意見交換および掲示板。	http://supportforum.sun.com/
Sun のすべての製品に対する技術サポート、診断ツール、 および警告。	http://jp.sun.com/support http://www.sun.com/bigadmin/
SunSolve。ソフトウェアパッチへのリンクがあります。シ ステムの仕様、診断、保守の情報、およびその他のツール が掲載されています。	http://sunsolve.sun.com/
SunService Support の電話番号。	1-800-872-4786 (1-800-USA-4Sun) オプション 1 を選択してください
世界中の SunService Support の電話番号。	http://www.sun.com/servicesolutions/

索引

D

DVD デュアルスロット, 6

O

OS 以外のソフトウェアの再インストール, 41

あ

安全性および適合に関する情報, 1

き

技術サポート

情報収集, 48

問い合わせ方法, 49

し

仕様

温度, 3

電気, 2

せ

設置に関する問題の診断, 43

は

ハードドライブのミラー化, 42

バックアップ、プリインストールイメージ, 42

ふ

プリインストールされている開発者ツール

Net Beans 5.0, 37

Sun Java Studio Creator 2, 37

Sun Java Studio Enterprise 8, 38

Sun Studio 11, 39

プリインストールされている生産性ソフトウェア

SunVTS 6.1, 35

プリインストールソフトウェア, 33

Solaris ソフトウェアの復元, 41

復元, 40

ほ

保守手順のムービー, 35

ま

マニュアル、CD-ROM

『CD の使用方法』, xv

ShowMe How, xv

ShowMe How ムービー, xv

『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service

and Diagnostics Manual』, xv
『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション設置マニュアル』, xv
『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーションマニュアルの概要』, xv
マニュアル、オンライン
『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』, xvi
Solaris 10, xvi
Solaris オペレーティングシステムソフトウェア, 34
『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Getting Started Guide』, xvi
『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Safety and Compliance Guide』, xvi
『Sun Ultra 45 and Ultra 25 Workstations Service and Diagnostics Manual』, xvi
『Sun Ultra 45 および Ultra 25 ワークステーション設置マニュアル』, xvi
『Sun XVR 100 グラフィックスアクセラレータインストールマニュアル』, xvi
『Sun XVR 2500 グラフィックスアクセラレータインストールマニュアル』, xvi
マニュアル、参照先, xiv
オンライン, xvii

わ

ワークステーション、設置作業, 4
ワークステーションの設置に関する問題
CD または DVD, 47
キーボード, 45
診断および修復, 43
低電力モード, 45
電源投入, 44
ネットワーク, 46
マウス, 46
モニター, 44